

のこだわりハウスをレポート

共通項は「忙しくてもすっきり」そして「こだわりぎっしり」。早速こだわりの城を拝見しましょう。

衣理クリニック表参道 ● 片桐衣理先生の場合

ママとして、ドクターとして、女性として…
時間ごとにいる場所を変えて
気分をスッキリ切り替える暮らし

玄関から続く広い廊下の先に広がるのは、豊かなグリーンを望むリビングと、走り回るほどの広々としたテラス。ヴェルサーチ好きというご主人の趣味もあって、ヴィンテージから新作まで、ひとつひとつ買い集めた家具が、インテリアの華です。メインルームはオフホワイトを基調としたダイニングコーナーと、黒やゴールドを用いたソファの並ぶリビングコーナー、二つの空間が組み合わさっています。「クリニックがお休みの水曜日の昼間は、自分の時間、ひらめきの空間であるダイニングでぼーっとと風を感じたり緑を眺めたりしていると、突然施術メニューが浮かんだりします。一方リビングのソファはくつろぐ場所、ベビージャンパンを敷きながら何も考えずに寝たり過ごしますね」

● 片桐先生の「おうちルール」●

時間をかけて好きなブランドの家具を揃える
ひらめきの空間、くつろぎの空間を分ける
ビューティアイテムは気分が上がるトレイにイン



「入庫リチュアル」で 毎日深い癒りに

入浴後、毎日同じ音楽を聴きながらボディジェルを塗ったり、同じジャンニヴェルサーチの線の写真集を眺めたりと30分くらいリラックスのひとときをもちの片桐先生のスタイル。つい仕事のことを考えちゃうようになったら、メモに書き出して、翌日に直すそう。「目標だけ立てて、後の扉やドアを閉めて思いを断るのも重要なポイントですね」

広々としたリビングで 夜は寛者の時間を

ソファ空間は、夜、寛が欲しくなってきたらおきの場所。シーティングにのっぴりと寝そべったり、お酒を飲みながら、仕事も家事もしない「自分の時間」を確保している。



思考が研ぎ澄まされる「ひらめきの空間」

仕事終了も、休日や週末のなかでぼーっとくつろぎたい、という片桐先生。休日、窓を開け放って風の音を聞いていたり、パッとひらめき、一気にアイデアを書き出すのだそう。

バスルームはキャンドルと トレイでロマンティックに

自身が手がけたコスメが、バスルームに美しく並ぶ。ゴージャスな設備もサブリケースとして活躍。「ここでは清潔さと種類、メイクは揃えたりリビングで、ボディケアなどはベッドルームで行います」



玄関は風水も意識。 ゴージャスな なかにも清潔感を

ゴールドの光と黒と白と緑と茶を揃えた玄関は、入れた法帖、優雅な気持ちに、汚れてはと外出している間に「靴が入るから」と、常に1度は掃除が欠かせないそう。

衣理クリニック表参道

クリニックのインテリアは、シンプルで上品な4畳と、キラキラを配った豪華な空間の両方でテイストをチェンジ。写真・15巻の掲載。東京駅徒歩5分 3-0-0 入居ビルが5F ☎03-5786-1155 月10時～19時 水・日・祝日 <http://www.ari-clinic.com/>



だから、部屋も住む人も美しい… 女医ハウス、共通項「まとめ」

ここまで「女医ハウス」を取材していると、それぞれお宅に個性はあれど、共通項があることに気づきます。
誰もがすぐに、おうちと自分のキレイに効く、女医ハウスの共通項をご紹介します!

3 好きなものだけを 置くことで、部屋に いる間じゅう幸せ

「ピンクのシャンデリアなど、好きなものしか視界に入らないで、本当に幸せ」というのは中野先生の声(写真左)。緊張感のある仕事場の環境からご自宅にどったら、やはり自分の好きなテキスト、思い入れのあるアイテムに囲まれて過ごすことで、幸福感が高まります。そのために「おもてなし」の空間は建物、ソファなど、ウェルサーチの家具もクッションも時間をかけて手に入れたものです」という片桐先生の言葉からもよくわかります(写真右)。



6 インテリア作りも 掃除も、プロの手を 上手に借りる

仕事や家事、加えて社交をしながら納めるいくぞくりをして暮らすためには、プロの手を借りるのがポイントのよう。まずは掃除づくりの段階で、プロの手を借りるという事が、高川先生が森田さんに相談したのをはじめ、中野先生はインテリアコーディネーターの橋田美幸さんにご相談も、引越した後の部屋の完成度はますます高まりそう。また、お掃除メンテナンスをプロにおまかせしているというのもすべての先生に共通でした。

2 住む場所も、 自分自身も、 イメトレが大得意

皆さんにおく「イメトレ」上手、どんなふうにもキレイになりたいか考えずしてお仕事の成り立たないから、イメトレの威力を良くご存じ。ご自身やお子さん、クリニックもご自宅も、「どうありたい?」ということを考えているのが共通項。インテリアを考えるときにももろもろ自分の好きなテキストやアイテムを徹底的に追求。ビジュアル系を効果的に使っているようでした。(写真上は片桐先生・下は高橋先生)



5 「見せる」と「しまう」を はっきりと切り替える

たくさんのお洋服、化粧品、靴やバッグ、エレガントなアクセサリーなどはとにかくファッションブル。でも、玄関は共通してスッキリバッグがごまかろ転がっているなんていうことはありません。思い通りに「隠すものは徹底的に隠し、見せたいものは見せたい」ように整理されているのです。逆に、見せたいものは新居でもディスプレイ。ウェルサーチの家具に合わせた片桐先生の同ブランドの香水



1 場所ごとの役割を はっきりさせて 気分を切り替える

美人ドクターたちはとにかく多忙。なのにもいつもハッピーそうかつ美しいのは、気持ちの切り替えが上手だから。自分のなかでも、意識的にくつろぐ、顔を使う、ここはひらめきの空間、と場所によってマインドが変えられるようにしているのはお見事! 写真は高川先生のテラスのリラックススペースと、とディープなパープルで統一して落ち着いて眠りに入れる寝室。その場所に行けば自然と気持ちもリフレッシュする、というのがポイント。



4 ミニマムにするところは 1. 深くミニマムにして バランスをとる

ご覧のとおり、華やかドクターの資格は、ロマンティックテイストなものがお好きな模様。でも、そればかりを盛り盛りしてしまっていてはちょっと…。というわけで、ポイントがポイントで引き算も写真の西川先生宅は、キッチン等と共通の大規模のダイニングテーブルはとでもミニマムで洗練されたデザイン。高橋先生の軽井沢の別荘もリビングダイニングは落ち着いたウッディなイメージで統一されています。



写真も暮らしもワンランク
高い場所に置かれる経験

高橋先生のお宅にて、専業主婦という仕事環境、ご自身のデザインも、高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生は、高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。



とにかく掃除よく掃除機が
回るように設備を整えて

高橋先生のお宅にて、高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。



掃除でもレッスンスム
イメトレで暮らしがディレ!

高橋先生のお宅にて、高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。



写真も暮らしで忙しくても
「家」を大切にしたい気持ち

高橋先生のお宅にて、高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。高橋先生がコーディネートしてくださる。

